

令和7年度 第1回鹿児島市男女共同参画審議会 会議概要

日 時	令和7年8月21日（木） 10時30分～12時00分
場 所	サンエールかごしま5階 特別会議室
出 席 者	委員14名 山田委員（会長）、上荒磯委員、佐藤委員、田中委員、永山委員、奈良迫委員、野田委員、日高委員、福島委員、丸山委員、宮本委員、三輪委員、安川委員、山下委員 （欠席：石走委員、大重委員（副会長）、鎌田委員、上村委員、川路委員、関山委員） 女性活躍アドバイザー、市民局長、人権政策部長、男女共同参画推進課長、主幹、職員1名
会 次 第	1 開会 2 新委員の紹介 3 議事 （1）本市の男女共同参画の進捗状況について ①本市における女性の公職参画状況 ②第3次男女共同参画計画に基づく令和6年度事業実施状況及び令和7年度事業実施計画 ③推進計画の達成状況について （2）その他 ①第3次鹿児島市男女共同参画計画の見直しについて ②男女共同参画に関する市民意識調査について 4 閉会
議事概要 ○委員 ●事務局	3 (1)① ○制度を変えたとともに、女性が意識を上げていかないことにはなかなか男女共同参画は成り立たないと思う。 3 (1)② ○令和7年度の「男女共同参画に関する市民意識調査」はどのように実施されるのか。 ●「かごしまのアンコンシャス・バイアス見える化事業」の意識調査と対象者が同じであることから二つの意識調査を併せて行う。 ○法律も男女ともに働き続けやすい制度にその時々社会情勢などに合わせて改正されてきているので、市の「かごしまのアンコンシャス・バイアス見える化事業」など、男性も女性も意識改革を進める必要がある。 ○昨年度から取り組んでいる「育児の日（19日）周知」の状況はどうか。 ●庁内放送や職員用の掲示板で呼びかけをしており、年休の取得や定時退庁に対する職員の意識は変わってきている。 3 (1)③ （意見なし） 3 (2) ①② ○自身の経験から会社も何かの転機があれば変われるということを実感しており、経営のトップの考えを変えていくことが重要である。また、経営判断するところに女性がいることの重要性も感じている。 ○「育児の日（19日）周知」による年休取得や定時退庁を育児のためにとっているのか。ただ年休が取りやすくなったというだけでは困る。この「育児の日」や「時差出勤の活用」というところをもう少し女性活躍の推進にフォーカスして取り組んでいただけたらと思う。